

日本質量分析学会における男女共同参画推進の取り組み 第1回ワークショップ開催

日本質量分析学会 男女共同参画推進委員会

(委員長 竹内孝江・奈良女子大学、副委員長 堀山志朱代・日本質量分析学会 庶務)

Annual Report on the Activity of Committee for the Promotion of Gender Equality in the Mass Spectrometry Society of Japan (MSSJ): The First Workshop at the 62nd Annual Conference on Mass Spectrometry, Japan

The Mass Spectrometry Society of Japan

(Takae Takeuchi・Nara Women's University; Shizuyo Horiyama, Secretary of MSSJ)

Abstract: The 1st MSSJ Gender Equality workshop was held at the 62nd annual conference in Mass Spectrometry on May 14th, 2014. The theme of this workshop was "Diversity Initiative in the Industry Relative to Mass Spectrometry". A lot of hints to play an active part in the Industry, the role models that pioneered the Mass Spectrometry world and a variety of work style in the enterprise were presented, and we discussed them.

1. 昨年9月以降、今年度の活動

- (1) 第62回質量分析総合討論会において第1回ワークショップを開催し、開催報告書およびアンケート集計結果をHPにおいて公表した。
- (2) 個人会員、学生会員および各委員会委員における男女数調査を行った。調査結果の公表準備中。
- (3) 第62回質量分析総合討論会(2014年5月14日～16日、大阪)および第41回BMSコンファレンス(2014年7月7～9日、石川)においてベビーシッターを提供した。
- (4) 「男女共同参画推進委員会」のwebページの更新 (URL: <http://www.mssj.jp/index.html>)

2. 第1回ワークショップ開催報告

質量分析関連分野の企業のダイバーシティ・インシアティブをテーマとした。

- (1) プログラム
 - ・開会挨拶 荒川 隆一(日本質量分析学会会長)
 - ・趣旨説明 竹内 孝江(男女共同参画推進委員会委員長)
「日本質量分析学会男女共同参画第1回ワークショップ」について
 - ・金井 みち子(LECO ジャパン合同会社)
「質量分析と私が働き続けることができた理由」
 - ・井上 則子(株式会社 JCL バイオアッセイ)
「多様な働き方への自主的な取り組み」
 - ・大久保健一郎(株式会社 日立製作所 研究開発グループ)
「日立グループにおけるダイバーシティ推進の取り組み」
 - ・本山 晃(株式会社 資生堂)

「“Gender Equality Society”に向けた当社の取り組みのご紹介」

- ・和氣 弘明(株式会社 島津製作所)
「質量分析機器メーカーで働く女性の事例紹介—マネージャの立場から—」

(2) 開催報告書

質量分析関連分野の企業で働く5名の講師の講演内容および参加者からの感想や意見をまとめて報告した。大企業ではダイバーシティ推進に取り組めるが、中小企業では難しい。家庭の事情で時間を気にして帰宅する人にも参加しやすい時間帯で開催して欲しい。などの貴重な意見が得られた。

http://www.mssj.jp/about/society/gender-repo_140727.pdf

(3) アンケート集計結果

アンケートを作成するにあたり次の2点を考慮して項目を設定した。

- (a) 参加者の背景情報を把握することで、どのような環境で仕事をされているのか、男女共同参画に対してどのようなお考えをお持ちなのかを読み取る

- (b) 毎年同じ項目を繰り返し質問することで、意識や環境の変化を経時的に把握する

参加者は男女ほぼ同じ割合。参加者の80%以上が「男女共同参画」という言葉を知っていたが、MSSJにおける男女共同参画推進委員会の活動に関しては「初めて知った」との回答が半数あった。積極的な活動が求められる。

http://www.mssj.jp/about/society/gender-qa_140727.pdf